

新品種・新技術活用産地育成プログラムに関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施 主体名	対象作物 ・畜産物名	事業実施 初年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況													具体的な 取組内容	地方農政局の意見
						基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目 (目標年) 平成30年	6年目 (再評価) 令和元年	7年目 (再々評価) 令和2年	8年目 (再々々評価) 令和3年	9年目 (再々々々評価) 令和4年	10年目 (再々々々々評価) 令和5年	目標値	達成率		
						平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年				
宮崎県	－	みやざき地 頭鶏コン ソーシウム	畜産 (肉用鶏)	H26年度	販売額1,462,000千円 (増加販売額362,000千円)	1,100,000千円	1,387,497千円	1,381,203千円	1,459,420千円	1,259,735千円	1,149,672千円	1,076,600千円	632,755千円	507,591千円	656,240千円	900,133千円	1,462,000千円	-55.2%	・肉質分析の実施、ブロイラーとの比較試験 ・機能性表示食品の認可取得、販売方法の検討 ・消費拡大を図るためのPR活動、学校給食への提供 ・安定生産に向けた飼養管理マニュアルの検証、飼育管理研修会の実施	「みやざき地頭鶏」の需要拡大に向け、改善計画に基づき、機能性成分分析に基づいた機能性表示食品の認可を令和3年9月に取得したことで、機能性を前面に出したさらなる販売・消費拡大を進めた。また、自治体等が行うイベント等に積極的に食材提供することで消費拡大活動を行い、国内外向けにPR強化を図るとともに、学校給食向けの提供拡大や香港への輸出の拡大を行った。 さらに、宮崎県で造成された「改良型みやざき地頭鶏」の安定生産に向けた飼育管理研修会等を実施することで、生産性の強化に取り組んだ。 これらの取組により、販売額は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により毀損された供給体制の回復までには至らず、さらに、大幅な飼料価格の高騰により生産コストが高止まりしたこと、経営状況が悪化し生産基盤が弱体化している生産者が増加している。 今後、事業実施主体に対し、改善計画の提出を求めることとする。